

緑化だより

No.99 平成26年10月号



コウヤボウキ

- 緑化センターの希少な樹木(7)
- 研修会のご案内
- 野鳥の世界(ソウシチョウ)
- お知らせ・ご案内
- どんぐり

10・11月の休園日はありません。

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



緑化センターの希少な樹木

No.7 ツルグミとマルバノキ

ツルグミはつる性木本で、“逆枝”という下向きの枝を出して他の樹木にからみついでいきます。花は10～11月、淡褐色の花が数個垂れ下がってつきます。でも、幹が太くなり他の木に高く昇ってから花をつけるようになるので、若い木には花が咲きません。果実は翌年の4月に赤く熟します。多くのグミの果実は甘くて食べられるのに反し、ツルグミの実は美味しくないと言われていますが、筆者はまだ試す機会がありません。樹木探勝園の問題3と4の間にあります。



ツルグミ

マルバノキは別名ベニマンサクで、この名前の方がよく知られています。広島県の自生地は大野町がよく知られていますが、緑化センターにあるのは植栽されたものです。名前のお通り、丸みのあるハート形の葉が特徴的です。花は10～11月ごろ、2個の花が背中合わせにつきます。花は、紅葉した葉が落ちる頃開花するので、紅葉と花が同時に見られる時期もあります。春に咲くマンサクとは同じ科ですが、属が異なっています。(マンサクはマンサク属、マルバノキはマルバノキ属) レストハウスの裏、学習展示館の裏、薬草園の近くにあります。(川上)



マルバノキ

野鳥の世界

ソウシチョウ

元は東南アジアの雑木林に棲む野鳥です。体色が美しくさえずりも高い調子でよく響くため、観賞用に重宝されたスズメ目の野鳥です。それがいつ頃からか籠脱けして野鳥化し、日本列島南西で自然繁殖したものが、夏は山間部で、冬は沿岸の温暖な地で寒さを避けて過ごしました。春から夏は山に入って繁殖するパターンを繰り返しながら増殖したと考えられます。広島県でもブナ林帯の笹藪で個体数が増加しているようです。天敵が少ないためと笹藪や混交樹林の中では餌が十分あるのでしょう。



ソウシチョウ

ソウシチョウ(相思鳥)の名の通り、一度つがいを組むと生涯を共にし、雌雄は離れることはないようです。鳴き声はクロツグミのサエズリのように聞こえますが、明るく高くよく通る声で繰り返しながら長く鳴きます。冬期、センターでも少数のソウシチョウが飛来し採食しているのに出会うことがありますし、寒い季節でも暖かい日にはサエズリが聞かれることがあります。(吉見)

どんぐり

広島市西部にある美鈴が丘団地の造成は昭和49年に始まったと記憶しています。横浜大学宮脇昭教授の指導で、美鈴が丘トンネル出入口上部にアラカシのポット苗が植えられましたが、52年の第1期工事完成時には周囲の木々に劣らず立派に成長しました。

昭和50年代に鳥取市津ノ井ニュータウンの造成が始まり、周辺の法面をどんぐりの苗木で緑化することになりました。泥岩の地盤に編柵を設置し、勾配の編柵の足元に土を入れて植栽する方法でしたが、樹高50センチ程度のアラカシ、シラカシ、ウバメガシ、マテバシイ等の苗は3年後には全面を覆い、宮脇博士の目指す潜在自然植生(極相林)の緑いっぱいの法面になりました。ただ、彩に乏しいためその後の施工で人家に近い所ではヤマザクラ、ヤブツバキやミツバツツジ等の混植を行いました。

秋になると緑化センターには多くの幼稚園児や小学生がどんぐり拾いに訪れます。袋に一杯拾って、先生見て見てと元気いっぱいです。

どんぐりは種類によりそれぞれ違った特徴を持っており、マテバシイ、スダジイ、コジイなど食べられるどんぐりと、アラカシ、シラカシ、コナラ等あく抜きしないと食べられないどんぐりがあります。

形も細長いものからまん丸いもの、三角形のもの、大きいもの、小さいものといろいろあります。今年咲いた花に実を付ける種類、昨年咲いた花に1年後に実を付ける種類、樹皮、葉、実等を煮詰めてアルミ媒染、鉄媒染で草木染材にもなるし、マテバシイなどで作る美味しいクッキーなど、緑化の実用性と植物の学習には欠かせない興味深い植物です。(正本)



アラカシの実



マテバシイの実



スダジイの実

研修会のご案内

- 10月3日(金)『平和公園の樹木散策』 10:00~12:00 原爆ドーム前 集合
※ 予約〆切りました。 講師:ひろしまピースボランティア 恵美 勇作
- 10月9日(木)『野生きのこ料理教室』 10:00~12:00 学習室 集合
野生きのこの美味しい料理法や試食を楽しめます。 講師:料理研究家
季節のきのこを味わってみませんか? 金本 久子
※ 要予約 先着25名 材料費300円
- 10月13日(月・祝)『秋のきのこ教室』 10:00~14:00 第3駐車場 集合
園内で自由にきのこを採集し鑑定会を行ないます。 講師:きのこアドバイザー
名前や食毒を勉強しませんか。 川上 嘉章
※ 採集用のカゴ持参
- 10月21日(火)『10月の自然探勝』 10:00~12:00 管理事務所前 集合
秋の樹木や花を観察しよう。 講師:植物研究家 清藤 徹
- 10月26日(日)『庭木の手入れ』 10:00~12:00 学習室 集合
マツのもみあげの講習と実習。 講師:NPO法人樹木医ひろしま
庭木の手入れの相談も受けます。 工藤 徹
※ 剪定バサミ、木バサミ持参

♪☆ご案内・お知らせ☆♪

◎ 展示会のお知らせ

(展示場所:レストハウス)

・つづらふじ手作りカゴ作品展

10月1日(水)~10月31日(金)

・「きのこ雲の下のきのこ」写真展

10月1日(水)~11月5日(水)

被爆70周年に寄せて。

平和公園に生えたキノコの写真を展示しま



昨年手作りカゴ作品展より

きのこ祭り

10月4(土)~13日(月)

クイズラリー(景品有り)、きのこの実物展示、

きのこ写真展、きのこの鑑定・相談

秋のおでかけキャンペーン

10月11(土)~11月16日(日)

県緑化センター・市森林公園

両園でスタンプを集めて景品ゲット!

もみじ祭り

11月1(土)~24日(月・祝)

クイズラリー(景品有り)。詳細は別途チラシを。

表紙; コウヤボウキ: キク科落葉低木

古名は玉箒(たまばはき)など言われ、万葉集にも詠まれている。新春の初子の日、これで作った箒に色とりどりの玉をつけ、養蚕室を清め豊産を願う予祝行事に用いられた。正倉院御物にも残っている。